

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（春日地区）

日 時	令和8年7月9日（木）午後7時00分～午後8時20分
会 場	本庁舎 4階大会議室
参 加 者	108名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	・旧岡島百貨店跡地再開発事業の進捗及びインバウンドの推進について 中心街には「甲府城」と「岡島」という2つのお城があると考えているが、旧岡島百貨店が解体されて3年、我々には全く情報が入ってこない、ぽっかりと穴が開いた異常事態が続いている。岡島には中心街に客を呼ぶ役割を担っていただいており、かつては岡島のバーゲンに合わせ、まちなかの商店街が「あっちがやるならうちも」と活気づいたものだが、今は真っ暗な道路を往来するのに大変苦労している。中心街が活性化しないとまち全体が盛り上がらないということで、現状を教えてほしい。 また、大勢の外国人が日本各地に観光に訪れており、富士山周辺にも来ている。甲府でも外国人観光客を呼び寄せるような取組をしていただければ、まちが活性化すると思う。 しかし、武田神社の裏手は草が生い茂り、あそこを綺麗に整備して花を植えれば、河口湖のように観光客がたくさん来ると思う。特に女性に喜ばれ、男性の誘客にもつながると思うがどうか。
まちづくり部長	旧岡島百貨店跡地については、中心市街地にとって非常に重要な場所だと認識している。現在は解体が終わり、事業者においては、建設工事費の高騰など社会経済情勢の急激な変化に対応するため、計画の見直しを行っている。現在見直し内容について、事業性の検証を行っている段階である。採算性、事業効果を確認したうえで、今年度後半には着手する予定である。また、見直し後、検討内容が確定次第、地域の皆様に説明できるよう、事業者に働きかけていく。

産業部長	インバウンドについては、海外から富士山周辺にもたくさんの観光客に来ていただいている。こうした観光客の甲府への誘客に向け、様々な手を打っている。サイン看板やパンフレットの多言語化、圏域自治体と連携し交通手段の検討も進めている。また、改めて観光地となり得るところには、外国人にも魅力的な高付加価値化を推進していきたい。
質問	・クーリングシェルターについて 熱中症予防対策の一つとして、今年も猛暑が予想される中、安心して外出するために数多くの「涼みどころ」が開放されていることは重要だと考える。現在、平和通り付近では、私が見る限り、市役所の向かい側に一か所、県庁の議事堂前に一か所、のぼり旗がある。春日地区には公的機関に加え、金融機関なども集中しているが、施設により開放が難しいことも承知している。他自治体では、金融機関、ドラッグストア、郵便局など開放している。我々は簡単に出入りできるクールシェアスポットが良いのではと考えているが、当地区での拡大を図るのか教えてほしい。 また、周知に効果的なのは、のぼり旗ではないかと考える。平和通りなどを見ると、のぼり旗は商業用の旗に紛れて分かりにくい。遠くから見ても分かりやすい、例えば、原色を使った青色に白字など、ラーメン屋の『冷やし中華始めました』の旗のような、のぼり旗を考えていただきたい。
樋口市長	本市では、平成26年から、省エネ・節電を目的に涼しさを共有する場所である「クールシェアスポット」として、公共施設等を市民の皆様へ開放しており、民間事業者・関係団体の皆様のご協力をいただきながら、その数を増やしている。 また、令和6年の「気候変動適応法」の改正により熱中症予防を目的とする避難施設である「クーリングシェルター」を指定するとともに、既存のクールシェアスポットからの切り替えを順次行っている。 6月末時点の市内におけるクーリングシェルターは75施設、クールシェアスポットは15施設を開放している。 春日地区における開放施設は、クールシェアスポットとして、

質問	NTTドコモショップ北側にある「株式会社アンサーノックス」、中央一丁目のデュオヒルズ甲府1階にある「暮らしの保健室 晴ればれ」、甲府共立病院の東隣にある「甲府健康友の会」の3か所である。クーリングシェルターとしては、市役所本庁舎、中央部市民センター、中央消防署の2階相談室、甲府市観光案内所の4か所である。 このほかにも、山梨県がクールシェアスポットとして春日地区に開放している施設として、山梨県庁などの県有施設が4か所、山梨中央銀行本店などの民間施設が5か所ある。 クーリングシェルターは、熱中症特別警戒アラートが発表された際など、指定された日時に原則として一般開放しなければならない義務があるが、本市においては、各施設が営業している時間は、クールシェアスポットとともに「涼める所」としてご利用いただくことができる。 熱中症対策は、民間事業者の皆様とともに取組の展開を図ることで、更なる普及啓発や市民意識の醸成を図ることが期待できることから、本市と包括連携協定を締結している大塚製薬株式会社様と今年度より開催している「甲府市熱中症対策健康会議」において、企業・団体の皆様と連携する中で「クーリングシェルター等の開設数の増加」などを目標として、これまでの間に市内郵便局28か所を新たにクーリングシェルターとして登録していただいた。 のぼり旗やポスターについては、開放施設の目印として、毎年度各施設に配布し、分かりやすく入り口付近に掲示していただくようお願いしているが、強風や設置スペースの関係上、また安全面を考慮して建物の中に掲示している施設もあることから、春日地区を含めた市内の開設施設については、本市ホームページをはじめ、7月の自治会の組回覧でお知らせしているので、お気軽にご利用いただきたい。 また、本市事業として、自治会が管理する地域集会施設を涼みの場として開放していただいた場合、自治会に支援金を交付する取組も先月末より受付を開始しているので、各自治会においてのご検討も併せてお願いする。 ・歩きたくなるまちなかを創出するための自治会としての関わり方及び天守閣の建築について
-----------	---

産業部長	「小江戸甲府 城下町整備プラン」のもと、こうふ亀屋座や小江戸甲府花小路がオープンし、桜町、紅梅町、周辺地域には観光客が訪れており、以前にはなかった新しい賑わいを見せている。観光バスや車での観光客が大変増えており、甲府城周辺の良さを感じ取ってもらっている。 今後の課題として2点、まず、歩きたくなるまちなかを創出するために何が必要か。次に、花小路の人気を維持するためには、また来たいと思わせる魅力が必要である。ぜひ、新しい観光資源として、舞鶴城公園に天守閣を建築すれば、大きな集客力につながると思うが、どのようにお考えか。 まず、歩きたくなるまちなかを創出するための関わり方については、甲府が紡いできた重層的な歴史や文化を感じながら周遊・交流できる施設として、昨年4月に「こうふ亀屋座・小江戸甲府花小路」をオープンした。 日頃より、紅梅町自治会の皆様をはじめ、甲府城南商店街振興組合やオリオン通り商店会の皆様においては、本市の市政推進にご理解とご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。 昨年度「こうふ亀屋座・小江戸甲府花小路」には、約70万人の方にご来訪いただき、本市の新たなランドマークの一つとして大きな賑わいを見せている。 こうした賑わいを更に広げていくため、歩きたくなるまちなかの創出において、回遊性の向上は重要な要素となってくる。 紅梅町自治会の皆様には、歩きたくなるまちなかに欠くことのできない「景観」や「環境美化」の面において、これまでもご理解とご協力をいただいているところであるが、引き続き、皆様のお力添えを賜りたい。 また、現在、本市が事務局を務めている「甲府まちなかエリアプラットフォーム」において、公園や道路に、椅子テーブルなどを配置した「居場所づくり」のほか、「目的地づくり」や活動の輪を広げる「仲間づくり」も進めている。こうした、回遊促進に資する取組にもぜひご賛同・ご参画いただきたい。 今後においても、「こうふ亀屋座・小江戸甲府花小路」を起点とした賑わいの創出に加え、市内の各観光地の魅力を更に磨き上げ、本市の産業振興における取組を力強く進めていく。 続いて、天守閣の建築について、甲府城跡は本市を代表する
------	---

質問	歴史文化資産であり、その魅力向上や観光振興の観点から、再現を望む声があることは承知している。 甲府城跡は、県が管理する国指定史跡であり、天守の建物復元には、その存在や構造を裏付ける史料が十分確認されていないため、現在、国や県の動向を注視している状況である。 しかしながら、観光資源として甲府城跡の価値を高めていくことは重要であると考えていることから、今後も、華やかになりし小江戸文化の中心となる、甲府城跡の魅力向上に向けた取組を進めていく。また、花小路の更なる魅力としては、今年度、亀屋座・花小路で、VRの進化系の「XR」の取組や冬のイルミネーションなど、さらなる魅力を高めていきたい。 ・リニア駅周辺事業の甲府市中心部への影響とアクセス方法について リニア駅周辺の事業は、中心部にどのような影響を与えるのか教えてほしい。また、リニア駅から中心部までのアクセス方法が未定のようなが、短時間で往来できる交通網を構築できるのか見解を伺いたい。
リニア交通政策監	リニア中央新幹線の開業により、より多くの都市と比較される時代においては、本市独自の価値となる「こうふく」を起点とした魅力を高め、外部からの関心を引き寄せることが重要であることから、甲府駅周辺とリニア駅周辺という性格の異なる二つの拠点が互いに連携・補完し合う都市構造の構築を、本市「（仮称）リニア山梨県駅前エリアのまちづくり基本方針」に位置付け、推進している。 この「二つの拠点を核としたまちづくり」により、リニア駅周辺を新たな玄関口として引き寄せた国内外の人材や資金など、多様な活力を速やかに中心部へと繋ぐことで、甲府駅周辺が培ってきた多様な人々との関わり合いや産業の集積といった強みが一層活かされ、中心部で生み出される独自の魅力や賑わいが、更なる外部からの関心を引き寄せる「好循環」を創出し、中心部の活性化が一層加速するものと考えている。 2点目のアクセス方法については、リニア駅から甲府市中心部へのアクセスについて、本市では、同「まちづくり基本方針」に、両拠点間をスピーディーに結ぶ速達性、誰もが快適に利用

質問	できる利便性、運行時間が正確な定時性に優れた交通ネットワークの強化を位置付けており、本市をはじめ県内全自治体や交通事業者等で構成される「山梨県公共交通再編研究会」において、本市の考え方を共有し協議しているところである。 現在、山梨県においては、国道358号（平和通り）をルートとしたシャトルバスによる接続に向けて、遠光寺北交差点付近の道路改良工事の進捗が図られているほか、一昨年末には、知事からも「富士トラム構想」が公表され、新たな公共交通網における基幹路線の整備に向けた調査・検討が進められている。 今後、こうした検討結果を踏まえ、山梨県や関係機関、交通事業者と緊密に連携を図りながら、最適な交通ネットワークの検討を進めてまいりたい。 ・旧岡島百貨店跡地への芝生広場の整備について 総合計画の資料の最初に、「皆様と共有しながらまちづくりを進めるための指針」とあるが、市民憲章の前文の解説には「富士山や南アルプスの山々、緑に映える甲府盆地」とある。これは、甲府から周りの山々が見えるまちづくりを市民が望んでいるということである。旧岡島百貨店跡地については、令和の初め頃に、地域の皆様に企業や市から説明があったが、3年経ってもこういう状態である。 先日、6月26日に地震があり、かなり揺れた。今後、災害に備え、あそこを芝生広場として、市民が顔を合わせる場所として整備していただきたいと「景観を考える会」でも言っている。災害があったときに、上まで登って芝生で集まるのではなく、下の広いスペースで皆が集まれる、顔を合わせられる場所を提案したい。 まちづくり部長 事業者と話をする中で、甲府城の前に亀屋座などの整備をしたので、そこから南側へ連続性を持たせるような動線の確保をお願いしている。また、オリオン通りに面した広場スペースの確保や、イベントができる空間としても考えてほしいという話を事業者としている。最終的な事業者との検討内容が見えたところで、地域の皆様に事業者がご説明させていただく流れとなっているところである。
-----------	--

質問	・舞鶴小学校西側の交通対策について 舞鶴小学校の通学路の危険箇所について、いつも丸の内から甲府駅の方に通勤するが、共立病院の方にタクシールがあるため、舞鶴小学校西側をタクシーの空車がよく通るので、その交通対策を考えていただきたい。
総務部長	労働局の西側だと思うが、現状を確認し、関係団体にも状況によって話をしていきたいと考えている。ご理解いただきたい。
樋口市長 (まとめ)	長時間にわたり、説明会に大勢の方にご参加いただき、感謝申し上げます。 多くの市民の皆様、特に未来の主役の小中高校生とワークショップを重ねて計画を作ってきた。１０年間の総合計画も「作って終わり」ではなく、３年ごとに見直しを行い、絶えず検証を進めていきたい。 岡島百貨店跡地の再開発も、今は計画が少し遅れているが、優良建築物の支援事業であり、しっかりと計画を市民の皆様にもお示ししながら、中心街の活性化やランドマーク的なものになるよう努めてまいりたい。 多くの市民の皆様の意見を聞かせていただき、それらを集約していくことが大事だと考えているので、今後とも様々な意見をいただければと思う。 甲府らしいまちづくりをすることが大事だと考えているので、岡島百貨店跡地がしっかりと新たな形を示すことで、その南側の商店街や動物園にも、歩いて楽しめる街並みとして再現できると考えている。引き続き、ご理解をいただきたい。 通学の安全対策についても、現地を確認しながら関係団体と協議・検討していきたい。 これからも市民の声をお伺いしていきたいと考えているので、協働のまちづくりにご協力をお願いします。
地区からの挨拶要旨	
春日地区自治会連合会会長	本日は第七次総合計画説明会を開催いただき、また、住民の質問にもお答えいただきありがとうございました。 春日地区は他の地区とは違う点が多々あり、特に官公庁が集中しているという特徴があるが、これが商業に必ずしも有利に

	働いているとは思われないし、昭和町の方などに大きなマーケットができていることも影響しているかもしれないが、昭和の時代には甲府市にも大きなデパートが3つあり、えびす講祭りなどの行事の際には、中央商店街が賑やかな時代があった。現在は、とても商店街が発展しているとは思えない。 また、これからは、人口減少が続く難しい時代で、発展させていくことは難しい要素が多々あると思うが、リニア駅ができるということで、これが甲府市にどのような影響を与えるかは、まだ分からないが、商業のまちとして発展していけるよう、リニアの開業も踏まえて、今後とも甲府市の皆様にはご尽力をいただき、春日地区が発展していけるよう、お願いしたい。
--	--